

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成24年度～平成28年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（るもい） 留萌森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 るもいほくぶ 留萌北部森林管理署
完了後経過年数	4年	管 理 主 体	留萌北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の北西部に位置し、留萌北部森林管理署管内の4町1村に所在する約105千haの国有林野を対象としている。</p> <p>森林の現況は、人工林面積がトドマツ（90%）を主な樹種に約14千ha、天然林面積は約84千haを有し、資源の目安となる蓄積は北海道の平均136m³/haに対して110m³/haとなっている。水源涵養を主な目的として総面積の約92%が保安林に指定され、日本海に面した海岸林は風害を軽減し、基幹産業の酪農や沿岸部の漁場保全に資する観点から地域の資源保全に重要な役割を果たしている。</p> <p>本計画区のうち当署管内は、天塩山系の最高峰ピッシリ山や朱鞠内湖など優れた景観を有する朱鞠内道立自然公園に指定され、保健休養の場として多くの利用者が訪れることから、観光資源としての特性も兼ね備える。ラムサール条約登録湿地のサラベツ原野周辺の海岸林は貴重な森林生態系を有するため、生物多様性の保全に期待されている。</p> <p>こうした豊かな自然環境は「ふれあいの森」や「遊々の森」協定締結による森林づくり活動を通じて、地域住民と森林とのふれあいの場を提供している。</p> <p>また、「初山別地域森林整備に関する協定」に基づき設定した森林共同施業団地は、施業の集約化や森林計画策定のための意見調整を図り、民有林と国有林が連携した森林整備の推進が求められている。</p> <p>一方、人工林の齢級構成は、約86%が7～12齢級で、その中でも主伐期とされる10齢級以上の割合は約52%を占め、森林資源の本格的な利用期を迎えており、森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>このため、本事業は森林の有する公益的機能の持続的な発揮を通じて地域の期待に応えるとともに、広葉樹資源の有効利用、さらには森林吸収源対策に寄与するために必要な森林整備や、これらを効率的に推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容： 森林整備 更新面積 20 ha 保育面積 3,453 ha 路網整備 開設延長 10.1 km 改良延長 0.1 km</p> <p>・総事業費 1,270,619 千円（税抜き 1,191,564 千円） （平成23年度の評価時点 1,612,700 千円（税抜き 1,535,904 千円））</p>		
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和3年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、実行段階における優先度を勘案した事業の実行に伴う事業量の変動等によるものである。</p> <p>総 便 益（B） 16,437,658 千円（平成23年度の評価時点：13,124,420 千円※） 総 費 用（C） 2,433,108 千円（平成23年度の評価時点：1,600,710 千円※） 分析結果（B/C） 6.76（平成23年度の評価時点：8.20 ※）</p>		
② 事業効果の発現状況	<p>・更新、保育によって適正に森林が整備され、水源涵養や山地保全、森林吸収源対策など、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・林道等の路網整備により、森林整備事業地までの通勤時間や木材の搬出距離が短縮されることで経費縮減が図られた。 ・計画的な事業の発注を通じて、雇用の場を提供することにより、地域の社会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、継続して適切に管理しており、良好な状態である。 ・整備された林道は、適切に維持・管理しており、良好な状態である。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・水源涵養や山地保全の機能が十分に発揮できる森林が形成されている。 ・周囲の森林と調和した施業は自然景観を保持し、保健機能等を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林業就業者数は長期的に減少傾向で推移する中、本地域では平成17年度の103人から平成27年度には122人に増加しているが、林業の高齢化率（65歳以上の割合）は他産業の平均と比較して高い水準にある。</p> <p>今後、道内では木質バイオマスによる発電の取組が展開され、林地残材の需要拡大が見込まれるため、気候変動対策の観点から、森林吸収源対策の促進や木材の安定的な供給を通じて地域経済の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い機械作業システムの定着が図られており、高性能林業機械のオペレーターなど、担い手の確保とともに林業技術者の育成が重要である。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>本格的な森林資源の利用期を迎え、持続的利用を図りながら森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画に基づき着実に実施する必要がある。</p> <p>再造林費用を低減するため、今後の施業を想定した効果的な路網配置に加え、コンテナ苗の活用や伐採と造林の一貫作業により、森林整備の省力化に資する取組を推進するとともに、天然力を活用した施業の構築など、多様な取組が求められる。</p> <p>なお、これらの取組は、関連する地域の自治体や事業体と現地検討会等を通じて技術の共有を図り、普及に向けて連携することが重要である。</p> <p>事業実施に関する地元意見は以下のとおり。</p> <p>（北海道）</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>（羽幌町）</p> <p>国有林は羽幌町の地域における水源林としての役割を担っており、間伐を主体とした森林整備が実施されたことにより、森林の有する多面的機能が発揮される健全な森林の形成がなされたことは評価する。</p> <p>今後も適切な整備と管理を実施され、民有林の模範となる森林経営をお願いする。</p> <p>（初山別村）</p> <p>森林環境保全整備事業により、初山別村の森林の有する多面的機能の発揮が促進され、土砂流出の抑制などに寄与し、基幹産業の振興に資する森林施業が実施されたと評価する。また、本事業の着実な推進は、計画的な事業の発注を通じて雇用の場を提供しており、現在は担い手不足などの問題があるものの、北森カレッジの効果等で担い手の増加が見込まれるため、同事業の継続と今後の効果を期待する。</p> <p>平成23年に「初山別地域森林整備共同施業団地」を設定後、協定に基づき現地検討会・技術研修会や学生を対象とした森林教室が実施され、民国の技術交流及び地域住民と森林のふれあいの場が設けられたことを評価する。</p> <p>一方、共同施業団地での施業の集約化が進んでいないことから関係機関との連携が図られるよう配慮いただくとともに、現況の情報提供を要望する。</p> <p>（遠別町）</p> <p>遠別町において森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと</p>

	<p>評価出来ます。</p> <p>しかし、遠別町内の国有林道及び併用林道協定を締結している林道が土砂崩れや倒木により、通行不能となっています。町単独での復旧が困難な状況であり、利用区域内は国有林が大半を占めているため、復旧に向けて引き続き、適期に必要な森林整備と基盤となる路網整備が実施されるよう、森林環境保全整備事業の継続をお願いいたします。</p> <p>(天塩町)</p> <p>森林環境保全整備事業により、天塩町の森林の有する多面的機能の発揮が促進され、土砂流出の抑制などに寄与し、基幹産業の振興に資する森林施業が実施されたと評価する。今後も適切な整備と管理を実施され、民有林の模範となる森林経営を要望する。</p> <p>保護林に指定される川口遺跡風景林は、文化遺産の保護及び地域住民に森林のふれあいの場を提供しており、保健文化機能が発揮されたことは評価する。また、自然環境の保全を図る観点から、今後とも総合的に適切な森林整備を要望する。</p> <p>(幌延町)</p> <p>北進、上幌延地区の山間部における適切な森林整備により、植栽木の成長が促進されるとともに、水源涵養機能が維持され、森林の有する多面的機能が発揮される健全な森林の形成がされていると評価します。</p> <p>今後においても、森林環境保全整備事業の継続と適切な国有林の整備を要望いたします。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本事業は、基幹産業の酪農や沿岸部の漁場保全に資する観点から、森林の有する水源涵養や防風機能の発揮に重要な役割を果たしている。また、森林共同施業団地による管理主体にとられない一貫した森林整備や保健文化機能の維持増進などに寄与する観点からも、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 事業採択時と比較すると、事業量の変動などによりB/Cは低減したが、現況に即した路網配置や路網と高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着が図られるなど、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本事業により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。水源涵養や山地保全の機能が発揮され、基幹産業の振興や森林吸収源対策に寄与していることから、事業の有効性が認められる。

※平成23年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

	<p>など、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林道等の路網整備により、森林整備事業地までの通勤時間や木材の搬出距離が短縮されることで経費縮減が図られた。 ・計画的な事業の発注を通じて、雇用の場を提供することにより、地域の社会経済に貢献した。
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、継続して適切に管理しており、良好な状態である。 ・整備された林道は、適切に維持・管理しており、良好な状態である。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水源涵養や山地保全の機能が十分に発揮できる森林が形成されている。 ・周囲の森林と調和した施業は自然景観を保持し、保健機能等を充実させている。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>林業就業者数は長期的に減少傾向で推移する中、本地域でも平成17年度の108人から平成27年度には83人に減少しており、林業の高齢化率（65歳以上の割合）は他産業の平均と比較して高い水準にある。</p> <p>今後、木質バイオマスによる発電の取組が展開され、林地残材の需要拡大が見込まれるため、気候変動対策の観点から、森林吸収源対策の促進や木材の安定的な供給を通じて地域経済の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い機械作業システムの定着が図られており、高性能林業機械のオペレーターなど、担い手の確保とともに林業技術者の育成が重要である。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>本格的な森林資源の利用期を迎え、持続的利用を図りながら森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画に基づき着実に実施する必要がある。</p> <p>再造林費用を低減するため、今後の施業を想定した効果的な路網配置に加え、コンテナ苗の活用や伐採と造林の一貫作業により、森林整備の省力化に資する取組を推進するとともに、天然力を活用した施業の構築など、多様な取組が求められる。</p> <p>なお、これらの取組は、関連する地域の自治体や事業体と現地検討会等を通じて技術の共有を図り、普及に向けて連携することが重要である。</p> <p>事業実施に関する地元意見は以下のとおり。</p> <p>（北海道）</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>（留萌市）</p> <p>森林環境保全整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持・増進が着実に図られたと評価します。特に、更新や保育間伐等の適切な森林整備と、今後の搬出を伴う間伐や主伐を見据えた路網整備を実施したことは十分に評価できます。</p> <p>また、当市の市町村森林整備計画では、森林の有する公益的機能の維持増進を目的とした森林整備を推進していることから、継続的かつ着実な森林整備の実施と、森林整備に不可欠な路網整備について、国有林と民有林が連携した今後の取組みを期待します。</p> <p>（増毛町）</p> <p>森林環境保全整備事業により、当町の森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。</p> <p>また、町内における国有林の占める割合は約3割となっており、森林整備が着実に実施されることで水源涵養機能・生活環境機能・山地災害防止機能・保健文化機能・木材等生産機能が十分に発揮されることが見込まれるため、今後も同事業の継続と適切な国有林の整備を要望する。</p> <p>国有林は町の暑寒別岳周辺、水源地の^{上流部}に位置しており、間伐等の事業が適正に実施されることで、健全な森林の形成がなされたことは評価する。今後も適切な整</p>

	<p>備と管理を実施され、民有林の模範となる森林経営をお願いする。 <small>おひら</small> (小平町)</p> <p>町内の行政範囲の9割を森林が占め、その森林面積の内、国有林が61%を占める当町において、森林整備が着実に実施されたことは評価できるものである。</p> <p>引き続き、適期に必要な森林整備と基盤となる路網整備の実施、また、森林の有する水源涵養や土砂流出防止機能の発揮は、基幹産業である農業や漁業の振興に資する観点から非常に重要であるため、森林環境保全整備事業の継続と適切な国有林の整備を要望する。 <small>とままえ</small> (苫前町)</p> <p>本町の森林は国有林の占める割合が高く、町の水源地の上流部に位置しており、森林整備が着実に実施されたことにより、水源かん養機能をはじめとした森林の持つ多面的機能の発揮が期待できる。</p> <p>今後も当事業の継続と国有林の整備を要望する。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本事業は、基幹産業の農畜産業や沿岸部の漁場保全に資する観点から、森林の有する水質浄化や水源涵養機能の発揮に重要な役割を果たしている。また、地域本来の森林再生を通じて豊かな環境保全に寄与する観点からも、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 事業採択時と比較するとB/Cは増加しており、現況に即した路網配置や路網と高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着が図られるなど、費用分析結果からも事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本事業により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。水源涵養や山地保全の機能が発揮され、基幹産業の振興や森林吸収源対策に寄与していることから、事業の有効性が認められる。

※平成23年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成24年度～平成28年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（くしろねむろ） 釧路根室森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 こんせんせいぶ 根釧西部森林管理署
完了後経過年数	4年	管 理 主 体	根釧西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の東部に位置し、根釧西部森林管理署管内の1市6町1村に所在する約182千haの国有林野を対象としている。</p> <p>森林の現況は、人工林面積がトドマツ（48%）、カラマツ（31%）を主な樹種に約58千ha、天然林面積は約110千haを有し、資源の目安となる蓄積は北海道の平均136m³/haに対して152m³/haとなっている。水源涵養を主な目的として総面積の約95%が保安林に指定され、基幹産業の酪農や沿岸漁業の振興に資する観点から地域の資源保全に重要な役割を果たしている。</p> <p>本計画区のうち当署管内は、壮大な蛇行河川が流れる日本最大の釧路湿原、透明度が高い摩周湖など、優れた景観を有する。湖沼群や湿地が点在し、阿寒湖では希少な藻類、国の特別天然記念物のマリモの生息域が広がる。そのため、阿寒摩周国立公園や釧路湿原国立公園などに指定されている。これらの環境資源の保全に資する観点から、河川流域の保全に配慮した施策が求められる。</p> <p>また、雌阿寒岳・雄阿寒岳周辺の風景林は保健休養の場として活用され、昆布森シレパ自然休養林や美羅尾野外スポーツ地域は野外活動の場を提供している。さらに、川湯温泉をはじめ、多くの温泉資源にも恵まれているため、観光資源としての特性も兼ね備える。</p> <p>別寒辺牛川流域に位置する大規模なカラマツ造成地「パイロットフォレスト」は、カラマツ材の利用拡大に向けた計画的な森林経営の推進や、生物群集保護林として森林生態系の保全に寄与し、森林環境教育の場としても活用されている。</p> <p>一方、人工林の齢級構成は、約86%が7～12齢級で、その中でも主伐期とされる10齢級以上の割合は約55%を占め、森林資源の本格的な利用期を迎えており、資源の循環利用の観点から森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>このため、本事業は森林の有する公益的機能の持続的な発揮を通じて地域の期待に応えるとともに、カラマツ材の利用促進、さらには森林吸収源対策に寄与するために必要な森林整備や、これらを効率的に推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容： 森林整備 更新面積 859 ha 保育面積 14,188 ha 路網整備 開設延長 21.1 km 改良延長 0.2 km</p> <p>・総事業費 4,763,960 千円（税抜き 4,460,267 千円） （平成23年度の評価時点 5,615,773 千円（税抜き 5,348,355 千円））</p>		
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和3年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、実行段階における優先度を勘案した事業の実行に伴う事業量の変動等によるものである。</p> <p>総 便 益（B） 53,610,123 千円（平成23年度の評価時点： 51,310,076 千円※） 総 費 用（C） 9,099,866 千円（平成23年度の評価時点： 7,256,362 千円※） 分析結果（B/C） 5.89（平成23年度の評価時点： 7.07 ※）</p>		

② 事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・更新、保育によって適正に森林が整備され、水源涵養や山地保全、森林吸収源対策など、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。 ・林道等の路網整備により、森林整備事業地までの通勤時間や木材の搬出距離が短縮されることで経費縮減が図られた。 ・計画的な事業の発注を通じて、雇用の場を提供することにより、地域の社会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、継続して適切に管理しており、良好な状態である。 ・整備された林道は、適切に維持・管理しており、良好な状態である。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・水源涵養や山地保全の機能が十分に発揮できる森林が形成されている。 ・周囲の森林と調和した施業は自然景観を保持し、保健機能等を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林業就業者数は長期的に減少傾向で推移する中、本地域でも平成17年度の475人から平成27年度には313人に減少しており、林業の高齢化率（65歳以上の割合）は他産業の平均と比較して高い水準にある。</p> <p>また、道内では木質バイオマスによる発電の取組が展開され、林地残材の需要拡大が見込まれるため、気候変動対策の観点から、森林吸収源対策の促進や木材の安定的な供給を通じて地域経済の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い機械作業システムの定着が図られており、高性能林業機械のオペレーターなど、担い手の確保とともに林業技術者の育成が重要である。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>本格的な森林資源の利用期を迎え、持続的利用を図りながら森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画に基づき着実に実施する必要がある。</p> <p>再造林費用を低減するため、今後の施業を想定した効果的な路網配置に加え、コンテナ苗の活用や伐採と造林の一貫作業により、森林整備の省力化に資する取組を推進するとともに、天然力を活用した施業の構築など、多様な取組が求められる。</p> <p>なお、これらの取組は、関連する地域の自治体や事業体と現地検討会等を通じて技術の共有を図り、普及に向けて連携することが重要である。</p> <p>事業実施に関する地元意見は以下のとおり。</p> <p>（北海道）</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>（釧路市）</p> <p>森林整備事業により、森林の有する多面的な機能の維持・促進が図られたものと評価する。また、本事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれる。</p> <p>釧路市においても地域材の安定供給及び雇用の創出を目指すべく、計画的な森林整備を実施していることから、主要産業の一つである林業・木材産業の発展のため、今後も同事業の継続を要望する。</p> <p>（釧路町）</p> <p>釧路町内の国有林は、北部の海岸線に水源涵養、防霧保安林が多く所在しており森林整備事業により保安林機能や森林の有する多面的な機能の維持・促進が図られたものと評価する。</p> <p>今後も、適切な森林整備の実施及び地域民有林事業者等のモデルとなるような森林整備事業の実施をお願いしたい。</p> <p>（厚岸町）</p> <p>厚岸町は、基幹産業である水産業の増殖や酪農業の環境保全、更に水資源確保に森林の持つ多様な機能は不可欠となっており、森林は環境資源として強く認識している</p>

	<p>ところであります。そのため、今後も森林整備事業の実施により、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう事業の継続を要望します。</p> <p>(浜中町) 森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の持つ多面的機能が発揮されることを期待する。</p> <p>今後も、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮されるよう事業の継続を要望する。</p> <p>(標茶町) 国有林は周辺に水資源保全地域が設定されている地域もあることから、間伐等森林整備が実施されたことにより、森林の持つ多面的機能と良好な森林がされ評価することができます。</p> <p>今後も、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮されるよう事業の継続を要望します。</p> <p>(弟子屈町) 弟子屈町内の森林のうち、国有林の占める割合が高く、森林整備が確実に実施された事は十分に評価できるものである。</p> <p>今後も、同事業の継続と国有林の整備を要望する。</p> <p>(鶴居村) 鶴居村の水資源地域の上流域に位置する国有林において、森林整備事業が実施されたことにより、水源涵養、林地保全等、森林の有する多面的機能の維持、造林が図られたものと評価する。</p> <p>また、茂雪裡地区においては、主要産業の一つである酪農業の営農用水を国有林内より取水しており、水質、水源の保全及び地域住民の民生の安定の観点から、今後も、造林、間伐等の森林整備事業の継続を要望する。</p> <p>(白糠町) 白糠町の広大な森林を管理する国有林野事業において広域にわたり事業推進がなされていることについて高く評価します。</p> <p>また、豊富で良質な水資源の安定供給は必須であることから、今後も森林の持つ多面的機能が持続的かつ高度に発揮できるよう事業の継続を要望します。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 本事業は、「マリモ」など貴重な生物の生息域の保全や基幹産業の酪農や沿岸漁業の振興に資する観点から、森林の有する水質浄化や水源涵養機能の発揮に重要な役割を果たしている。また、保健文化機能の維持増進などに寄与する観点からも、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 事業採択時と比較すると、事業量の変動などによりB/Cは低減したが、現況に即した路網配置や路網と高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着が図られるなど、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。水源涵養や山地保全の機能が発揮され、基幹産業の振興や森林吸収源対策に寄与していることから、事業の有効性が認められる。

※平成23年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成24年度～平成28年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（くしろねむろ） 釧路根室森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 こんせんとうぶ 根釧東部森林管理署
完了後経過年数	4年	管 理 主 体	根釧東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の東部に位置し、根釧東部森林管理署管内の1市4町に所在する約106千haの国有林野を対象としている。</p> <p>森林の現況は、人工林面積がトドマツ（38%）、アカエゾマツ（32%）を主な樹種に約25千ha、天然林面積は約66千haを有し、資源の目安となる蓄積は北海道の平均136m³/haに対して101m³/haとなっている。水源涵養や土砂流出防備を主な目的として総面積の約97%が保安林に指定され、特に酪農が盛んに営まれているため、基幹産業の振興に資する観点から地域の資源保全に重要な役割を果たしている。また、広大な格子状防風林は気象害防備機能に加え、野生生物の移動経路として生態系の保全に寄与し、次代に継承するため北海道遺産に選定されている。</p> <p>本計画区のうち当署管内は、羅臼岳を主峰に知床連山が連なる優れた景観を有し、知床国立公園や野付風連道立自然公園などに指定され、日本最東端の根室半島からは北方領土を眺望できる。世界自然遺産に登録される知床半島の一部は、緑の回廊として生態系と生物多様性を維持し、知床森林生態系保護地域では原生的森林生態系の適切な保護や普及啓発を推進している。</p> <p>日本最大の砂嘴である野付半島はラムサール条約登録湿地であり、「トドワラ」を有する独特の湿地景観が形成され、探勝路は保健休養の場として多くの利用者が訪れている。また、天然記念物のシマフクロウやオジロワシの生息地周辺を保護林に指定し、希少野生生物の保護に配慮した森林施業を推進している。</p> <p>一方、人工林の齢級構成は、約81%が7～12齢級で、その中でも主伐期とされる10齢級以上の割合は約38%を占め、森林資源の本格的な利用期を迎えており、資源の循環利用の観点から森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>このため、本事業は森林の有する公益的機能の持続的な発揮を通じて地域の期待に応えるとともに、木材の安定供給、さらには森林吸収源対策に寄与するために必要な森林整備や、これらを効率的に推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容： 森林整備 更新面積 773 ha 保育面積 11,333 ha 路網整備 開設延長 20.7 km 改良延長 3.6 km</p> <p>・総事業費 2,434,607 千円（税抜き 2,280,779 千円） （平成23年度の評価時点 2,079,301 千円（税抜き 1,980,286 千円））</p>		
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和3年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、実行段階における優先度を勘案した事業の実行に伴う事業量の変動及び森林整備における植栽費用がかかり増しになったこと等によるものである。</p> <p>総 便 益（B） 30,739,035 千円（平成23年度の評価時点：24,695,142 千円※） 総 費 用（C） 5,613,680 千円（平成23年度の評価時点：2,631,288 千円※） 分析結果（B/C） 5.48（平成23年度の評価時点：9.39 ※）</p>		
② 事業効果の発現状況	<p>・更新、保育によって適正に森林が整備され、水源涵養や山地保全、森林吸収源対策</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・林道等の路網整備により、森林整備事業地までの通勤時間や木材の搬出距離が短縮されることで経費縮減が図られた。 ・計画的な事業の発注を通じて、雇用の場を提供することにより、地域の社会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、継続して適切に管理しており、良好な状態である。 ・整備された林道は、適切に維持・管理しており、良好な状態である。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・水源涵養や山地保全の機能が十分に発揮できる森林が形成されている。 ・周囲の森林と調和した施業は自然景観を保持し、保健機能等を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林業就業者数は長期的に減少傾向で推移する中、本地域では平成17年度の110人から平成27年度には119人に増加しているが、林業の高齢化率（65歳以上の割合）は他産業の平均と比較して高い水準にある。</p> <p>また、道内では木質バイオマスによる発電の取組が展開され、林地残材の需要拡大が見込まれるため、気候変動対策の観点から、森林吸収源対策の促進や木材の安定的な供給を通じて地域経済の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い機械作業システムの定着が図られており、高性能林業機械のオペレーターなど、担い手の確保とともに林業技術者の育成が重要である。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>本格的な森林資源の利用期を迎え、持続的利用を図りながら森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画に基づき着実に実施する必要がある。</p> <p>再造林費用を低減するため、今後の施業を想定した効果的な路網配置に加え、コンテナ苗の活用や伐採と造林の一貫作業により、森林整備の省力化に資する取組を推進するとともに、天然力を活用した施業の構築など、多様な取組が求められる。</p> <p>なお、これらの取組は、関連する地域の自治体や事業体と現地検討会等を通じて技術の共有を図り、普及に向けて連携することが重要である。</p> <p>事業実施に関する地元意見は以下のとおり。</p> <p>（北海道）</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>（根室市）</p> <p>当市に所在する国有林は、防風保安林、防霧保安林が多く、機能維持のための森林整備が適切に行われたことについて評価します。</p> <p>今後においても、各種機能が十分に発揮できる森林整備が継続的に行われることを期待します。</p> <p>（別海町）</p> <p>本町における国有林の大半は格子状防風林であり、防風効果を発揮できる森林施業を実施していることは評価できる。防風林の齢級は、次第に主伐の増加が考えられることから適切な森林更新を行い、防風効果を極力落とさない森林施業を要望する。</p> <p>（中標津町）</p> <p>町内の森林のうち国有林の占める割合が高い当町において、格子状防風林を含む森林整備事業が適切に実施され、森林の持つ様々な機能が発揮されていることについては十分に評価できるものであります。</p> <p>また、林業従事者の担い手不足が当町においても課題となっており、国有林での森林整備は雇用継続の場としても重要と捉えていることから、今後においても森林整備事業の継続による適切な森林整備を要望いたします。</p> <p>（標津町）</p> <p>当町の基幹産業である農業や漁業に森林整備は重要であると捉えており、この間、</p>

	<p>適切に森林整備が実施されてきたことについて評価する。これからも森林の有する水源涵養や土砂流出防備機能の確実な発揮のために計画的な森林整備を要望する。</p> <p>(羅白町) <small>らうす</small></p> <p>町内の森林のうち国有林の占める割合が高い当町では、森林施業や保安林制度、知床生態系保護地域等の保護施策により、地域住民の生活環境が保全されるとともに、多くの野生生物が生息することができる健全な森林環境が整えられています。</p> <p>このような森林環境において、計画的に森林整備事業が保たれていることについて十分に評価できるものです。また、当町は世界自然遺産に登録されている地域であることから、引き続き景観に配慮した森林整備、生態系及び生物多様性を考慮した適切な森林整備を要望します。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本事業は、酪農をはじめとする基幹産業の振興に資する観点から、格子状防風林の気象害防備機能や水源涵養機能の発揮に重要な役割を果たしている。また、「緑の回廊」による連続的な森林生態系の保全に寄与する観点からも、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 事業採択時と比較すると、事業量の変動などによりB/Cは低減したが、現況に即した路網配置や路網と高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着が図られるなど、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本事業により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。水源涵養や山地保全の機能が発揮され、基幹産業の振興や森林吸収源対策に寄与していることから、事業の有効性が認められる。

※平成23年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。